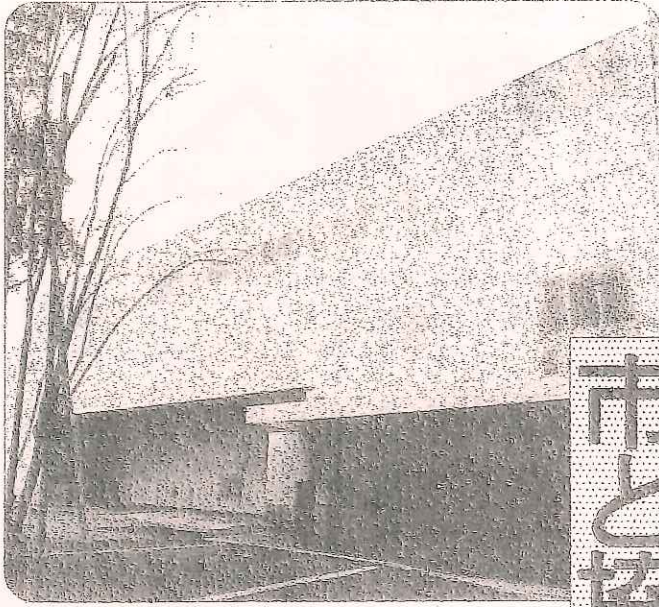


# ふれあいだより

山田校区  
ふれあい  
協議会

## 新潟日報黒埼本社

### 一時避難所に



一時避難所になる印刷センター

新潟日報黒埼本社（メディアポート）が洪水や地震の緊急時に住民が避難する一時避難所に指定され、二十四日、市と協定書が交わされました。

## 市と協定しスタート

山田校区内は、集中豪雨により信濃川の洪水や浸水の危険性をはらんでいます。最近では三年前の二十三年七月の新潟・福島豪雨で内水氾濫を生じたところが随所にありました。地震は昭和三十九年の新潟地震以来、被害

はありませんが、活断層の分布から油断はできません。幸い津波の心配はないようですが、避難所設置は地元として歓迎するところです。避難所として使用されるのは鉄筋四階建ての印刷センターとニューセンターの全社屋で収容できる人数は六五

### 篠田市長と小田社長が調印

施設も利用できる体制をとっています。二十四日の調印式は新潟日報本社で行われ、篠田市長と小田社長らが出席、山田校区ふれあい協議会の青木会長ら地元の自治会長が立ち会いました。

○人です。この施設の特徴は、非常用の自家発電機があること、また生活用水の供給ができるという点です。水道が断水しても、ろ過システムを備えた地下水が利用されます。この水は地域の人が利用できるように印刷センターのエントランス脇に応急給水栓が設置されています。また従業員用の入浴



寒椿鮮やか

雪にもめげず



# 山田小の一体化 自転車歩行者道 来年度から整備へ

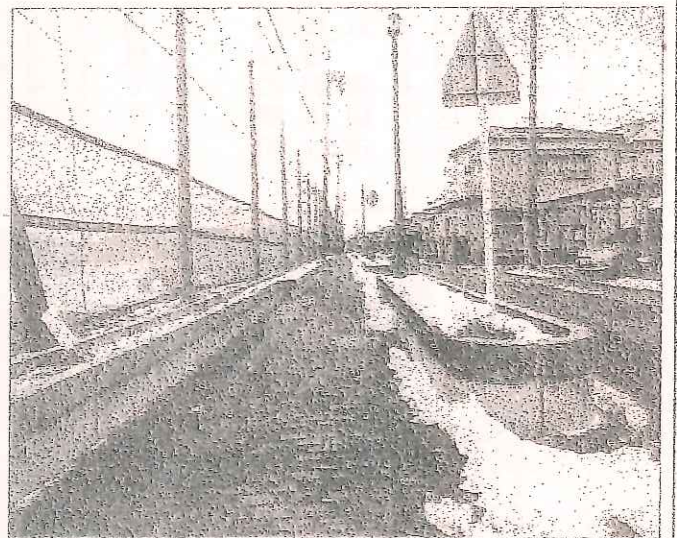
## 地元の悲願実る

かねてから計画が進められてきた山田小学校の校舎とグラウンドの一体化と、電鉄跡地の自転車歩行者道の迂回ルートが決定し、来年度からそれぞれ着工、整備されることになりました。

地元の自治会 委員会（青木留蔵やPTAで山田小 会長）が結成され、学校環境整備推進 電鉄跡地で分断さ

れていた校地の一体化を市、市教委に要望したのは平成二十年でした。その実現のためには、住宅五軒の移転と、自転車歩行者道のルート変更が必要でした。ルートの変更は迂回することを内

新たに自転車歩行者道になるふれあいロード



校舎とグラウンドを繋ぐ電鉄跡地

### 歩行者道グラウンドを迂回

定し、二

### 西バイパスと前川原ポンプ場

十四年度から五軒の方と市の間で移転交渉が進められ、昨二十五年度に交渉がまとまりました。そして今年度中に予定された解体、撤去が既に終わりました。市教委の方針は

十四年度から五軒の方と市の間で移転交渉が進められ、昨二十五年度に交渉がまとまりました。そして今年度中に予定された解体、撤去が既に終わりました。市教委の方針は

### 排水設備を万全に

山田校区を貫通する今回の計画には三回はわたる検討会と、説明会が開かれました。

自転車歩行者道は幅四計で脇に植栽や地被類（クラピア）など、潤いをもたせる計画です。

説明会では、その内容や管理方法などに質問が出ました。

また、地域一帯が低地であるため排水設備の完備が必要との指摘があり、市側では基本的な計画を説明するとともに検討を約束していました。